

のんきなりゅう

グレアム作 ムーア絵 中川千尋訳 徳間書店

丘^{おか}のふもとにすんでいたひつじかい^{ひつじかい}は、ある日^ひ、ほらあなで^でおそろしいものを見^みました。ほらあなに出^でかけていったひつじかいの小さ^{ちい}なむすこが見^みたものは、見^みかけはおそろしいけれど、のんきなりゅう^{のんきなりゅう}でした。友^{とも}だちになっ

た二人^{ふたり}でしたが、おびえた村人^{むらびと}が、りゅうたいじの騎士^{きし}聖^{せい}ジョージ^{ジョージ}をよんでしまったのです。

始^{はじ}まつたりゅうと聖^{せい}ジョージ^{ジョージ}のた

たかい。さあ、勝負^{しょうぶ}の行方^{ゆくえ}は…。

イギリスのアフィントンの丘^{おか}の伝^{でん}

説^{せつ}を元^{もと}にした、かしこい男^{おとこ}の子^ことの

んきなりゅう、誇^{ほこ}り高^{たか}い騎士^{きし}の物^{もの}語^{がたり}。

